

別紙2 (審査基準)

審査項目	審査対象	評価内容		配点
業務実績 及び 実施体制 (20点)	業務実績	本業務と同種・類似業務の実績を有しているか。		10
		管理技術者	資格を有しているか。	1
			同種・類似業務の実績を有しているか。	2
			手持ち業務との重なり程度(繁忙度)はどうか。	1
		主任技術者	資格を有しているか。	1
			同種・類似業務の実績を有しているか。	2
	手持ち業務との重なり程度(繁忙度)はどうか。		1	
業務実施体制	提案内容を実施できる担当技術者が確保されているか。		2	
企画提案 内 容 (70点)	業務実施方針	的確性 実現性	本事業の目的及び内容を理解したうえで、目的の達成に向けて適切な方針が示されているか。	15
	業務スケジュール	的確性 実現性	各工程におけるポイントや課題を把握したうえで、業務を期間内に円滑に遂行できるスケジュールが提案されているか。	10
	提案項目① 本施設に導入可能と考えられる事業手法に関する論点と意見	的確性	知見に基づく論理的な説明がなされているか。	5
		実現性	本事業の課題も把握したうえで、最適な民間活力の導入手法を選定するための具体的な論点や意見が示されているか。	5
		独創性	独自の着眼点からの付加価値のある提案となっているか。	5
	提案項目② 本施設の利用促進、サービス向上を実現できる運営事業者についての論点と意見	的確性	知見に基づく論理的な説明がなされているか。	5
		実現性	本事業の課題も把握したうえで、最適な民間活力の導入手法を選定するための具体的な論点や意見が示されているか。	5
		独創性	独自の着眼点からの付加価値のある提案となっているか。	5
	提案項目③ 本事業への市内事業者の参画促進に向けた論点と意見	的確性	知見に基づく論理的な説明がなされているか。	5
		実現性	本事業への市内事業者の参画促進につながる具体的な論点や意見が示されているか。	5
		独創性	独自の着眼点からの付加価値のある提案となっているか。	5
	見積価格 (10点)	業務に要する価格	見積価格が提案内容に対して適正であるか。	
計				100

評価基準の各評価項目の評価方法と評価点の計算方法

1 配点について

(1) 評価点の計算は、各項目の配点×評価係数とする。

2 評価方法と評価点の計算方法

(1) 事務所等の業務実績

事務所等の業務実績については、実績毎に表の評価事項により評価する。

$$\text{評価点} = \text{実績1件毎の基準配点(2点)} \times \text{同種・類似係数を5件合算}$$

区分	内容	係数
同種	屋内プールを有する施設や子ども向け施設（学校教育施設や児童福祉施設を含む）に係る民間活力導入可能性調査業務	1.0
類似	上記以外の民間活力導入可能性調査業務	0.6

(2) 配置予定技術者の業務実績

管理技術者、主任技術者の能力を、資格、業務実績で評価する。

ア 資格

資格については、表の資格事項により評価する。

$$\text{評価点} = \text{基準配点(1点)} \times \text{資格係数}$$

資格	係数
公認会計士、税理士	1.0
一級建築士、技術士（総合技術監理部門（建設—都市及び地方計画）若しくは建設部門（都市及び地方計画））	0.8
資格無し	0.6

イ 業務実績

技術者の業務実績の内容から、表の評価事項により評価する。

$$\text{評価点} = \text{実績1件毎の基準配点(0.4点)} \times \text{同種・類似係数を5件合算}$$

区 分	内 容	係 数
同種	屋内プールを有する施設や子ども向け施設（学校教育施設や児童福祉施設を含む）に係る民間活力導入可能性調査業務	1.0
類似	上記以外の民間活力導入可能性調査業務	0.6

ウ 繁忙度

手持ち業務と本件業務との重なり程度を評価する。

評価点 = 基準配点（1点） × 繁忙度係数

繁忙度	係数
委託期間中を通して手持ち業務との重なりがない。	1.0
手持ち業務と重なりが一時ある（委託期間のうち60%未満）が、程度から判断して業務遂行が可能。	0.8
委託期間中を通して手持ち業務との重なりがある（委託期間のうち60%以上）。	0.6

（3）業務実施体制

業務実績に応じた担当技術者の配置人数を評価する。

評価点 = 基準配点（2点） × 配置人数係数

区 分	内 容
同種	屋内プールを有する施設や子ども向け施設（学校教育施設や児童福祉施設を含む）に係る民間活力導入可能性調査業務
類似	上記以外の民間活力導入可能性調査業務

配置人数	係 数
同種又は類似業務の実績が2件以上ある担当技術者が2名以上	1.0
同種又は類似業務の実績がある担当技術者が2名以上	0.8
同種又は類似業務の実績がある担当技術者が1名以上	0.6
同種又は類似業務の実績がある担当技術者がいない	0.4

（4）業務実施方針及び業務スケジュール、提案項目に対する評価

業務実施方針及び業務スケジュール、提案項目に対するプレゼンテーション及びヒアリング

の結果を踏まえ、評価する。

評価事項	評価点				
	ア (5点)	イ (4点)	ウ (3点)	エ (2点)	オ (1点)
的確性	特に優れ ている	優れてい る	普通	やや劣っ ている	劣ってい る
実現性					
独創性					
理解・知識					

(5) 価格点

見積価格として、委託業務見積価格について評価する。

※見積価格のうち最低価格を満点として評価する。価格点は小数点以下第3位を四捨五入する。

$$\text{価格点} = \text{配点(10点)} \times \left(\frac{\text{提案価格のうち最低価格}}{\text{自社の提案価格}} \right)$$